

ネットワーク型の学校経営の推進について ～学校支援地域本部事業の拡大～

「学校を核とした地域力強化プラン」 学校支援地域本部事業

主旨：地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支えていく様々な活動を推進するため、地域と学校をつなぐコーディネーターが中心となり学校支援活動等の取組みを通じて社会全体の教育力の向上及び地域の活性化を図る。

補助率：補助対象経費のうち国 1/3、東京都 1/3

補助対象：授業等の学習補助、部活動補助、学校行事支援、学校環境整備、登下校の見守り等に係る事業費（諸謝金、旅費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、賃料、会議費、保険料、役務費、委託料）

必須事項：①域内の教育活動等の運営方法を検討する「運営委員会」の設置
②域内の教育活動等の総合的な調整役を担う「地域コーディネーター」の配置

平成 28 年度 5 校 ⇒ 平成 29 年度 13 校 ⇒ 平成 30 年度 29 校
学校間・地域間格差が無いように 3 年間で全校導入が目標

国・都の方向性 ⇒ 学校教育に地域力導入

◆平成 27 年 12 月中央教育審議会答申

「地域と学校の連携について～新しい時代の教育や地方創生に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策～」

◆平成 28 年 1 月文部科学省

「次世代の学校・地域」創生プラン

* 地域が学校のパートナーとして子どもの教育に関わる！」

★平成 25 年 4 月東京都教育委員会

「東京都教育ビジョン（第 3 次）」

* 地域等の外部人材を活用した教育の推進

国・都の方向性

市の方向性

立川市第 4 次長期総合計画

施策 6

「学校・家庭・地域の連携による教育力の向上」

施策 7

「生涯学習社会の実現」

⇒ 学習の場と機会の提供

* 平成 27 年度から学校支援ボランティア事業を開始

* 学習成果を地域に還元する社会教育本旨の実現

ネットワーク型の学校経営システム構築・立川市民科の推進

平成 28 年度から立川市では学校支援地域本部事業を開始

* 総事業費 1,569 千円 補助金申請額 1,046 千円

立川第一中学校区

- 一中…コーディネーター 1 名
(活動内容) 学習支援における協力者の確保・調整、周年事業の地域連携の調整ほか
- 一小…コーディネーター 1 名
(活動内容) 授業支援における協力者の日程調整ほか
- 四小…コーディネーター 1 名
(活動内容) 花壇整備・授業支援における協力者の確保・調整ほか

第九小学校

- コーディネーター 3 名
(活動内容) 和太鼓指導や、学習支援、畑における協力者の確保及び日程調整。具体的な交流事業の支援。

立川第五中学校

- コーディネーター 1 名
(活動内容) 学習支援及び地域の方をゲストティーチャーに招くための地域活動協力者の確保・日程調整ほか

学校長からの声(一例)
H28.12.15 事業連絡会にて

「もともと地域の方々に支援していただきながら築いてきた本校だが、教員の入れ替わり等の際に活動を継続することの困難さが課題としてあった。地域コーディネーターの方にサポートしていただきながら活動を継続していきたい。」

今後について

目標

- ①平成 29 年度は計 13 校で実施予定
- 新規校 三小・六小・七小・松中小
- 立川三中・立川四中・立川六中・立川七中
- ②平成 30 年度までに全校で事業化
- ③学校を核とした地域社会の活性化を目指す「学校を核とした地域社会の活性化を目指す」学社一体（学校教育と社会教育の一体化）を推進

課題

- ①地域の核として活動できる地域コーディネーターの確保
- ②全校実施に向けて事務の共同化の推進
- ③国と都の補助金の額を含め、必要な財源の確保